

平成25年度
千代田区

防災講演会

テーマ

首都直下地震の姿
—地震の影響と防災対策—

講師 平田 直 氏

東京大学地震研究所 地震予知研究センター長
東京大学地震研究所 教授



《プロフィール》

1982年東京大学大学院理学系研究科地球物理学専攻博士課程退学。千葉大学理学部助教授、東京大学地震研究所助教授などを経て、1998年から同研究所教授。前同研究所長。2011年から同研究所地震予知研究センター長。著書に『巨大地震・巨大津波 一東日本大震災の検証一』（共著、朝倉書店）、地殻ダイナミクスと地震発生（分担、菊地正幸編 朝倉書店）など。

| | |
|-----|---------------------------------------|
| 日時 | 平成25年8月30日（金） 13:30~15:00（13:00開場） |
| 場所 | 日比谷公会堂（裏面の会場案内図をご参照下さい。） |
| 定員 | 1,000名（先着順。定員になり次第締め切らせていただきます。） |
| 参加費 | 無料 どなたでもご参加いただけます |

※事前に申し込みが必要となります 詳しくは裏面をご覧ください

主催： 千代田区

共催： 丸の内消防署、麹町消防署、神田消防署、NHK

後援： 千代田区連合町会長協議会、東京商工会議所千代田支部、千代田区商店街連合会、
(社)東京青年会議所千代田区委員会、(財)まちみらい千代田、千代田区商工業連合会、
平河・隼・紀尾井町環境整備協会、東京駅・有楽町駅周辺地区帰宅困難者対策地域協
会、富士見・飯田橋駅周辺地区帰宅困難者対策地域協力会、四ッ谷駅周辺地区帰宅困
難者対策地域協力会、秋葉原駅周辺地区帰宅困難者対策地域協力会

◆ 防災貢献者表彰式を実施します

講演会の前に、防災貢献者に対する表彰式を行います。

この表彰は、日ごろから防災対策に積極的に取り組み、防災に関して地域に貢献している団体を対象としています。防災意識の一層の向上と普及啓発のために行っているものです。

◆ 防災講演会って何？

区内には約3万5千の事業所があり、平日昼間には約82万人の人々が活動しています。このような状況の中、大規模な災害が発生した場合、行政だけで被災者の応急活動を行うことは困難だと考えられます。

このため、事業所をはじめとした区内で活動を行う人々に「自らの命は自らが守る 組織は組織で対応する」という災害対策の基本と社会的責任を再認識してもらうとともに、地域と行政とが相互に連携していく機運が高まるよう、防災講演会を開催しています。

《会場案内図》

日比谷公会堂 千代田区日比谷公園 1-3

【丸の内線】「霞ヶ関駅」下車 B2 出口より徒歩約5分

【日比谷線又は千代田線】

「日比谷駅」下車 A14 出口より徒歩約3分

【日比谷線】「霞ヶ関駅」下車 A5 出口より徒歩約6分

【千代田線】「霞ヶ関駅」下車 C4 出口より徒歩約3分

【三田線】「内幸町駅」下車 A7 出口より徒歩約2分

【JR 山手線・京浜東北線】「有楽町駅」「新橋駅」下車
日比谷口出口より徒歩約15分



◆ お申し込み（8月23日（金）締切り）

下記申込書に必要事項をご記入の上、ファクシミリ又は電子メールによりお申し込みください。

メールの場合は、申込事項を明記のうえ、件名を「**防災講演会申込**」としてください。

ファクシミリ・メール送信をもって受付とさせていただきます。

なお、定員を超えた場合のみご連絡させていただきます。

当日は、申込書（メールの場合は送信文をプリントアウトしたもの）をご持参ください。受付時、提出していただきます。

平成25年度「防災講演会」申込書

※は必須事項とし、他は差し支えない範囲でご記入ください。

| | | | |
|----------|---|-------|--------|
| 団 体 名 | | | |
| 所 属 | | | |
| 所 在 | 区 | 町 | 丁目 番 号 |
| 電 話 | (|) | 内線 |
| 参加代表者氏名※ | | 参加者数※ | 名 |
| 備 考 | | | |

◇ お問い合わせ先 ◇

千代田区 環境安全部 防災・危機管理課

電話 (03) 5211-4187 FAX (03) 3264-1673

e-mail bousai@city.chiyoda.lg.jp